

稲葉健二のコラム



新型コロナウイルスに対して、国、県、市が様々な支援策を行っています。マスクや定額給付金に始まり、個人事業主や法人などのための給付金や貸付金などいろいろあります。社会福祉協議会では少額の貸付などに多くの方が訪れています。マイナンバーカードの発行申し込みの窓口には多くの方が並んでいます。市の問い合わせ電話は混雑で、つながらない状態が多くなっています。

市の独自の制度で、コロナの感染拡大防止に対して個人事業主や小規模法人の方に、事業者緊急支援事業給付金というものがあります。手続きも煩雑ではなく上限20万円の給付金をもらうことができます。感染症の拡大防止の取り組みに使用するもので、8月末までの受付期間ですが、まだ予算に対して申請者が少ないようです。対象となる方はご検討下さい。

前記の施策は、即効性があり、ハードルも高くなくありがたいものですが、8月から始まるキャッシュレス決済普及促進事業というものに疑問を感じています。6月議会でも問題点を指摘させて頂きました。これは、市内経済の下支えを目的に総額200億円の経済効果を目指すものです。市内のお店で買物をする際に、スマホでキャッシュレス決済をすれば1割ポイントが付くというものです。この1割の相当する20億円を市川市の税金で負担するものです。一人の上限は1回の買物で2000ポイント、利用上限は2万ポイントまでです。確かに買物をするお店は市内のお店限定にできますが、使用する方たちを市川市民と特定はできません。また、過去の地域商品券などでは、中小商店などではあまり利用されず、大手の事業者でほとんど使用されました。加えて、他市の方たちが買物をしたポイントバックに制限をつけることはできません。推測数値ですが49万人市川市民でスマホを持っている方の人数は約10万人とされています。その内キャッシュレス決済まで利用している方は半数までっていないと言われています。その方達しか使えない施策に20億円は使いすぎだと考えます。20億円あれば、市川市民全員に4000円ずつ給付できる金額です。20億円をこの事業のためだけでなく、子育て施策に5億、高齢者施策に5億、コロナ減収施策に5億、キャッシュレス決済施策に5億など、対象となる部分を分けて進めるべきではないでしょうか。キャッシュレス決済事業者はペイペイに決まり、これから具体的に市民の方達に広報されていきます。

ご意見・ご要望等お気軽にどうぞ！



市川市議会議員

稲葉健二の ひと言メッセージ

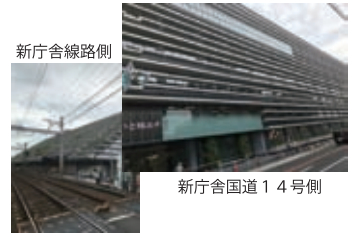
No.57

令和2年7月20日発行
稲葉健二事務所
272-0021
市川市八幡2-2-10
TEL 047-333-1783
FAX 047-334-1990
URL www.inaba-kenji.jp
MAIL kenjiinaba@aol.com

新庁舎建設について②

コロナ禍の中、多くの方が新しい生活スタイルに向けて頑張っていると思います。私も、市民の方達が、不安のない生活ができるように、応援できるように引き続き頑張っています。

3年以上の月日かけた新庁舎建設事業も終盤を迎えています。前号で書きました、新庁舎建設について、その後の流れと今後の予定等を書かせて頂きます。前号でお伝えした階段の建設ですが、予定通り建設されることになりました。階段の建設費や関連の予算は2月議会の当初予算の中で計上されました。通常定例議会の補正予算で提案された場合は、その予算のみを否決することで決することができます。ところが当初予算は、次年度の予算を審議することになります。この当初予算が否決された場合、市側は改めて再議決を求めて予算提案することができます。その際に再議決も否決するにはこんどは過半数ではなく3分の2の賛成者がないとできません。市政が混乱して新年度に予算が間に合わなくなると、暫定予算で進む可能性も出てきます。コロナ禍の中、市政の混乱は避けるべきと判断しました。しかし、全庁の開庁が来年1月とされていましたが、当初の予定通り8月25日に一部開庁し、4階以上の執務は8月から行われることになりました。全庁の執務が新第一庁舎で始まるのは来年の1月になりますが、8月から、2階で証明書の発行業務はできるようになります。詳しい相談業務などは引き続き仮庁舎ですが、謄本や住民票、印鑑証明の取得であれば、新第一庁舎ですむこととなります。また、周辺の整備も併せてお願いしてあります。駅からの動線で14号線のスクランブル交差点のところの市民談話室前のプランターの撤去は終了し、今後案内掲示板も移設して、通り易い道を目指します。また、庁舎前の信号機の角のスペースですが、植込みの撤去後に休憩できるスペースとして活用できるように椅子を設置し、災害時は、その椅子がかまどとして使えるようになっています。庁舎への車の出入りは西側の通りから入り、踏切前で右に曲がり駐車場に入り、戻る際は同じ道を14号線に戻り信号で左右に進めます。自転車やバイクの駐輪場も庁舎の隅に分散してつくられています。



建設中の新本庁舎2020.7月

稲葉健二議会質問 令和2年6月会派代表質問要旨

市議会中継をPCやスマホでも見ることができます。<https://www.youtube.com/watch?v=jrEa5v5zI0&list=PLJbQtwTsBJbA1-pPDw0k1hWCU16j1aHB2&index=7>

○議案第10号

(1) P13 文化会館大規模改修事業費本年度支出額

ア. 増額補正になった経緯、詳細

イ. 舞台設備の執行方法の変更によるメリット、デメリット

ウ. 今回の見直しで、改修工事の内容に影響はあるのか

(2) P13 文化芸術活動緊急支援事業負担金及び文化芸術活動緊急支援給付金

ア. 提案に至った経緯、詳細

イ. 給付対象者の考え方、広報方法

ウ. 申請、管理、運営の内容

エ. 予算規模から考える、事業の拡大、継続に対する考え方

(3) P13 国府台公園野球場再整備工事監理委託料本年度支出額、国府台公園北側広場等再整備設計委託料及び国府台公園野球場再整備事業費本年度支出額

ア. 減額補正の提出に至った経緯、詳細

イ. この見直しによる再整備計画への影響

○追加経済対策について

(1) 事業者緊急支援事業臨時給付金について

ア. 今回拡大に至る経緯、内容

イ. 現在の対象者と追加での対象者数

ウ. 現在までの申請者数、支給者数

エ. 広報活動の内容と今後の考え方

(2) キャッシュレス決済普及促進事業について

ア. 委託料の提案に至る経緯、詳細

イ. どのような効果が見込めるものなのか

ウ. この予算の妥当性、積算根拠

エ. 他の手法での市内経済支援方法の考え方

オ. キャッシュレス決済を利用できない市民への対応

カ. 委託事業者の選定方法、基準

○市の文化芸術振興について

(1) 現在の状況、課題について

(2) 市が考える今後の方向性について

(3) 新型コロナウイルスで文化芸術活動に影響を受けた方々への支援策

(4) 文化会館の改修工事について

○新庁舎建設について

(1) 工事の進捗状況と開庁へのスケジュール

(2) 庁舎周辺の整備について

(3) 庁舎周辺の動線について

(4) 供用開始後の近隣への対応について

(5) 供用開始後の市役所機能を考えた部署の配置について

(6) 完成後の葛飾八幡宮境内の公共施設の再整備計画について

○新型コロナウイルスによって休館していた公共施設の利用について

(1) 新型コロナウイルスに対応した利用方法

(2) 使用が難しいとされる利用目的に合わせた利用方法

(3) 施設によっての利用判断の基準

○清掃事業、環境対策について

(1) 可燃ごみの収集回数について

(2) プラスチック製容器包装類の収集について

(3) レジ袋有料化を受けた市の方向性

(4) ごみの発生抑制に対する市の考え方

○私立幼稚園について

(1) 今後の幼児教育のあり方、支援の考え方

(2) 新型コロナウイルスに対して、市との連携、支援の考え方

○避難所開設運営方針について

(1) 現在の状況と方向性

(2) 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた考え方

(3) 避難所や地域による判断基準

(4) 在宅避難や民間施設利用などの考え方

○学校再開に向けた市川市の取り組みについて

(1) 児童生徒及び職員の感染症防止について

(2) 児童生徒の心のケアについて

(3) 児童生徒の学びの保障について

○子どもの体力向上について

(1) 子どもの体力向上を目指した学校の取り組みと現状及び今後について

(2) 学校外で子どもがスポーツをする場や機会の現状と取り組み及び今後について

○公共施設等総合管理計画と今後の学校づくりについて

(1) 公共施設等総合管理計画の前提条件と現状の乖離について

(2) 公共施設等総合管理計画の学校の評価指標について

(3) 今後の学校づくりについて

まとめ

今回の質問は、コロナに関する質問が多くなりました。生活も含めて、趣味やサークル活動、学校の状況など抱える課題は多岐にわたります。コロナへの不安と闘いながら新しい生活に向けて進んでいくには、家族はもとより社会をつくっていく全体で考えていかなければならないと思います。国や県、そして一番身近な市川市が、どのように皆さんに寄り添い応援をしていかなければなりません。自粛だけでは解決できない課題も多くある中、一人一人ができることから進むことを行政とともに私も応援していきたいと思っています。市の貯金とも言える財政調整基金というものがあります。災害などに対応するために積み立ててあります。年度当初は229億円ありましたが、4度にわたる補正予算で現在は147億円になっています。コロナ対応は大切ですが、災害に対しても用意は必要です。特に市川市は市税収入が財源の柱です。今年のコロナ減収は来年度の市税減収につながることであります。市民の生活を守るためにバランスを考えるべきだと思っています。

